

引用文献・参考資料 (順不同)

- No 著者・発行者名：文献名 発行所 発行年月
- 1 關伽出甕：「中国正史に見る天皇家の祖神」(2) <http://accord.at.infoseek.co.jp/BIGLOBE/nip16225.htm>
 - 2 伴 昌広：古代史の復元。 <http://www.geocities.jp/mb1527/index.htm>
 - 3 朴 炳植著：日本原紀。情報センター出版局。1987年6月
 - 4 玄松子：延喜式神名帳 <http://www.genbu.net/engi/index.htm>
 - 5 長部日出雄：「古事記」の真実。株式会社文藝春秋。2008年8月
 - 6 宝来 聰：DNA人類進化学，岩波科学ライブラリー52(岩波新書)。1998年4月(第3刷)
 - 7 李連慶・池上正治編：アジア遊学No.52。特集「徐福」。勉強出版。2003年6月
 - 8 桂川光和：日本建国史。 <http://www.max.hi-ho.ne.jp/m-kat/nihon/index.html>
 - 9 山下重良著：大和朝廷を乗った人々[古代日本原記第十章]
http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/1Onottori.pdf
 - 10 井上修一：邪馬台国大研究。 <http://inoues.net/> (株)梓書院。2009年1月
 - 11 石原道博編訳：新訂 魏志倭人伝 他三編(岩波文庫)、岩波書店、1951年
 - 12 龜山 勝：中国大陸・日本列島・朝鮮半島関連歴史年表。Webサイト
 - 13 神 一行：消された大王・饒速日。学習研究社。2000年9月
 - 14 神服部宿禰兼行：真説日本古代史。 <http://www2.plala.or.jp/cygnus/>
 - 15 神奈備：延喜式神名帳 神社一覽。 <http://kannavi.jp/en/index.htm>
 - 16 金田一春彦他編著：国語大辞典。小学館。1986年

- 17 小島憲之他(校注・訳者)：日本書紀(一～三)。小学館・日本古典文学全集。1996年
- 18 高坂和導：竹内文書。徳間書店。1995年
- 19 高坂和導：竹内文書Ⅱ。徳間書店。1995年
- 20 宮下文夫：古代史ロマン。 <http://kodaiyujin.fe2web.com/mokuji.html>
- 21 中丸 薫：古代天皇家と日本正史。徳間書店。2004年9月
- 23 小椋一葉：消された霸王。河出文庫。2005年2月
- 24 池田仁三：古代の日中交流(その源流を探る)。 <http://www11.ocn.ne.jp/~jin/KORY.htm>
- 25 佐伯有清：魏志倭人伝を読む(上・下)。歴史文化ライブラリー。吉川弘文館。2000年
- 26 相模原駿河：日本の歴史(日本列島の足跡) <http://www.eva.hi-ho.ne.jp/suruga/japankokogaku2.htm>
- 27 佐藤洋一郎：DNAが語る稲作文明―起源と展開。日本放送出版協会。1996年
- 28 瀬祭主人：三國志 魏書 卷三十 東夷伝 倭人条。 http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/gishi/gishi_framepage.htm
- 29 松田文夫編：紀州豪族史料。自費出版。平成十九年(第三版)
- 30 竹田昌暉：日本書紀の謎。徳間書店。2004年
- 31 井上越夫：陵・宮跡碑石墓誌解説による上代天皇系譜年表(自筆データ)。平成3年1月
- 32 鳥居竜蔵：有史以前の日本。1918年
- 33 坂本太郎他校注：日本書紀(上)。岩波書店。昭和42年3月
- 34 山口佳紀・神野志隆光：古事記。小学館・日本古典文学全集。1997年
- 35 吉留路樹：倭国ここに在り。葦書房。1991年
- 36 古田武彦：古田史学の会・北海道ニュース第五号。1996年7月 <http://www.furutasigaku.jp/furuta/jnihon.html>
- 37 瀬祭主人：鎌足伝大織冠伝 http://www004.upp.so-net.ne.jp/dassai1/kaden/kaden00_frame.htm

- 38 渡辺裕司：最新日本古代史。 <http://yujiwww.web.infoseek.co.jp/h-kodaiishi1.htm>
- 39 塚田敬章：饒速日の国譲り。 <http://www.conet.ne.jp/~tenb/6/Zyomon2.htm#四>
- 40 金 富軾著金思燁訳：完訳 三国史記。株式会社明石書店。1997年11月
- 41 日本歴史研究室：古代史。 <http://www.8tok2.com/home2/rekishu/>
- 42 伊太祁曾神社：紀伊国祖神。伊太祁曾神社
- 43 原田常治：古代日本正史。(株)同志社。1989年
- 44 次田真幸 全訳注：古事記(全三卷)。2006年4～6月50刷。株式会社講談社
- 45 倉橋日出夫：古代出雲と大和朝廷の謎。学研M文庫
- 46 山下重良著：建国の始祖王 須佐之男尊。『古代日本原記第三章』
http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/3susanoo.PDF
- 47 日根輝己：紀氏は大王だったー消された邪馬臺国東遷と紀氏東征。燃焼社。平成7年
- 48 石渡信一郎：聖徳太子はいなかった。一三書房。2001年
- 49 瀧音能之：古事記と日本書紀。株式会社青春出版社。2005年
- 50 高野山文書刊行会編：旧高野領内文書(三)。昭和14年
- 51 大野七三：日本建国神代史。批評社。2004年
- 52 井沢元彦：逆説の日本史。小学館。2001年
- 53 吉村菊之丞：大三輪の神大物主。 <http://www1.kcn.ne.jp/~kikujo/>
- 54 大庭豊広：連立王朝 大和朝廷。 <http://www.sol.dti.ne.jp/~toy-ohba/renritsu.html>
- 55 瀬祭主人：宋史 卷四九一 外國伝 日本國 http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/soushi/frame/soushi_frame.htm
- 56 後藤 隆：先代旧事本紀大成経。株式会社徳間書店(東京)。2004年10月

- 57 井上越夫：日本古代史の謎は解けた。大陸書房（東京）。昭和61年4月
- 58 池田仁三：墓碑から卑弥呼を確定する <http://www1.ocn.ne.jp/~jin/HIMIKOK.html>
- 59 池田仁三：古墳墓碑(上・下)。株式会社青林堂。平成25年5月23日(初版)
- 60 鳥越憲三郎：中国正史 倭人・倭国伝全訳。中央公論新社。2005年10月
- 61 安本美典：古代物部氏と「先代旧事本紀」の謎。勉誠出版(株)。平成15年6月
- 62 菅野雅雄訓読：先代旧事本紀。新人物往来社。2008年
- 63 関 裕二：神話に隠されている日本創世の真実。株式会社 文芸社。2005年8月
- 64 中西正和：歴史データベース。 <http://macao.softvision.co.jp/dbpwww/index.html>
- 65 黒岩重吾：古代史を解く九つの謎。PHP研究所。2003年
- 66 関 裕二：消された王権・物部氏の謎。PHP研究所。2003年
- 67 関 裕二：蘇我氏の正体。東京書籍株式会社。2005年
- 68 黒板勝美編：日本書記(上)。岩波書店。昭和18年
- 69 坂本太郎他校注：日本書記(下)。岩波書店。2003年5月
- 70 青木和夫他校注：続日本紀(一～五)。新日本古典文学大系。岩波書店。2005年
- 71 上野 誠他：三輪山の古代史。株式会社学生社。2004年
- 72 石上神宮：石上神宮。石上神宮。2003年1月
- 73 三好和義他：日本の古社 大神神社。株式会社淡交社。2004年2月
- 74 関 裕二：古代史 謎解き事典。株式会社三修社。2006年5月
- 75 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅰ ヤマト編。株式会社ポプラ社。2006年3月
- 76 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅱ 出雲編。株式会社ポプラ社。2006年4月

- 77 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅲ 九州邪馬台国編 株式会社ポプラ社 2006年5月
- 78 高島精二 訳：秀真伝え（翻訳） <http://www.hotsuma.gr.jp/>
- 79 梅原 猛：神々の流竄 株式会社集英社 2002年6月
- 80 山下重良：邪馬台国の建国から女王卑弥呼の時代 紀の川市桃山歴史の会 平成22年9月
- 81 石上神宮発行：石上神宮 2003年
- 82 三浦祐之：金印偽造事件 株式会社幻冬社 2006年
- 83 関 裕二：出雲抹殺の謎 PHP研究所 2007年
- 84 金谷雲：日本語の正体 株式会社三五館 2009年
- 85 佐伯有清 編訳：三国史記倭人伝 株式会社岩波書店 1988年
- 86 藪内虎彦編著：桃山町史 桃山町 昭和四十七（1972）年十月
- 87 東京大学史料編纂所：大日本古文書・高野山文書二（一）八 東京大学出版会 明治40年（復刻版）
- 88 佐治芳彦：謎の宮下文書 株式会社徳間書店 1984年
- 89 仁井田好古ら編著：紀伊統風土記第一～五輯 臨川書店 天保十年（復刻版）
- 90 山下重良著：大和国建国の霸王 大歳尊 古代日本原記第四章 http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/4ootoshi.pdf
- 91 桂川光和：勘注系図から探る欠史八代の実年代 <http://www.max.hi-ho.ne.jp/m-kat/nihon/6-6syodai.htm>
- 92 大平 裕：日本古代史 正解 纏向時代 株式会社講談社 2010年5月
- 93 石原道博 編訳：新訂旧唐書倭国日本伝・宋史日本伝他 株式会社岩波書店 2008年6月（第48刷）
- 94 神道編纂会：神道大系古典編十三海部氏系圖 平成四年三月
- 95 北川和秀：新撰姓氏録氏族一覽 <http://homepage1.nifty.com/k-kitagawa/data/shoji.html>
- 96 藤堂明保 他編：漢字源 株式会社学習研究社 2007年11月（改訂第四版）

- 97 榊原康彦：天武天皇の秘密と持統天皇の陰謀。彩流社。2006年2月
- 98 森博達：日本書紀の謎を解く。中央公論社。1999年10月
- 99 石渡信一郎：蘇我馬子は天皇だった。株式会社一三書房。1993年2月
- 100 渡辺長義：探求 幻の富士古文献。今日の話題社。2002年
- 101 (財)桜井市文化財協会：桜井・発掘調査現場から。平成11年3月
- 102 佐伯有清：新撰姓氏録の研究 本文篇。吉川弘文館。昭和37年7月
- 103 吉田大洋：謎の出雲帝国―怨念の日本原住民氏・天孫一族に虐殺された出雲神族の怒り。徳間書店。1980年
- 104 関 裕二：天武天皇 隠された正体。ベストセラーズ。1994年10月
- 105 黒板勝美等編：国史大系3(続日本後紀他)。株式会社吉川弘文館。昭和41年8月30日
- 106 森田 悌：日本後紀(上・中・下)。株式会社講談社。2006年10月～2007年2月
- 107 古田武彦：「邪馬台国」はなかった。朝日新聞社。1993年1月
- 108 Wikipedia フリー百科事典：歴代の暦法
- 109 進藤孝一：秋田「物部文書」伝承。無明舎出版。1990年3月(四版)
- 110 大野七三：皇祖神饒速日大神の復権。批評社。2006年11月
- 111 山下重良著：聖徳太子は日本書紀の創作だった。『古代日本原記第十二章』
http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/12syoutoku.pdf
- 112 小路信次：卑弥呼 千七百年の謎を解く。株式会社近代文芸社。2005年5月
- 113 桜井徳太郎校注：寺社縁起 元興寺伽藍縁起並びに流記資材帳。岩波書店。1975年
- 114 黒板勝美編：国史大系第六十卷下 尊卑分脈第四編。株式会社吉川弘文館。昭和39年7月
- 115 公卿類別譜。 http://www.geocities.jp/okugesan_com/index.html

- 116 僧皇円著(田中孝顕)：扶桑略記。 <http://www.umoregi.com/koten/fusoryakki/>
- 117 洞院満季編：本朝皇胤紹運録。大正4年書写(早稲田大学古典籍総合データベース)
- 118 田中 卓：紀氏家牒。 <http://kannavi.jp/ki/kisinoie.htm>
- 119 関裕二：日本古代史 謎と真説。株式会社学習研究社。2005年5月
- 120 関裕二：入鹿と鎌足。株式会社学習研究社。2007年
- 121 梅原 猛：葬られた王朝。新潮社。2010年4月
- 122 那賀郡役所編：那賀郡誌(上・下二巻)。那賀郡役所。大正12年
- 123 岩橋小弥太：日本の国号。株式会社吉川弘文館。昭和四十五年九月
- 124 山下重良著：太古の浪漫 弥生文明を先導した徐福。「古代日本原記第二章」
http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/2johuku.pdf
- 125 司馬遷撰：小竹文夫・小竹武夫訳。史記全八巻。株式会社筑摩書房。2009年
- 126 武光 誠：蘇我氏の古代史。株式会社平凡社。2008年5月
- 127 津田左右吉：神代史の新しい研究 古事記及び日本書紀の新研究。岩波書店。1966年
- 128 白井永二・土岐昌訓編：神社事典。株式会社東京堂出版。1997年9月
- 129 大津透 他：古代天皇制を考える。株式会社講談社。2009年3月
- 130 神社新報社：全国著名神社名鑑。神社新報社。平成十七年三月
- 131 谷川健一：隠された物部王国「日本」(ヒノホト)。株式会社情報出版局。2008年8月
- 132 安藤精一・五來重 編：日本歴史地名大系31巻(和歌山県)。株式会社平凡社。1983年2月
- 133 小島憲之他校訂・訳：日本書紀下・風土記。株式会社小学館。2007年9月
- 134 佐治芳彦：「禁断の古史古伝」九鬼文書の謎。株式会社経済界。2003年2月

- 135 関 裕二：日本を不幸にした藤原一族の謎。PHP 研究所。2006年10月
- 136 青木紀元監修：「古語拾遺」を読む、株式会社右文書院、平成十六年十二月
- 137 小林恵子・井沢元彦：「記紀史学」への挑戦状。株式会社現代思潮社。1998年10月
- 138 佐治芳彦：謎の竹内文書。株式会社徳間書店。1979年
- 139 森浩一：記紀の考古学。朝日新聞社。2005年2月
- 140 荻原千鶴(全訳注)：出雲風土記。株式会社講談社。1999年6月
- 141 笹山晴生他編：詳説日本史史料集。株式会社山川出版社。2007年1月(再訂版)
- 142 原田常治：上代日本正史。(株)同志社。昭和53年9月
- 143 大山誠一：^聖徳太子^の誕生。吉川弘文館。1990年
- 144 梅原 猛：聖徳太子 1. 集英社。1993年
- 145 梅原 猛：聖徳太子 2. 集英社。1993年
- 146 梅原 猛：聖徳太子 3. 集英社。1993年
- 147 梅原 猛：聖徳太子 4. 集英社。1993年
- 148 久米那武：上宮太子実録。上宮教会出版部蔵版。明治三十八(1905)年四月十日
- 149 津田左右吉：日本古典の研究(下)(津田左右吉全集2)。岩波書店。1950年
- 150 梅原 猛：隠された十字架―法隆寺論。株式会社新潮社。平成17年
- 151 井上光貞・他：歴史散歩辞典。山川出版社。2001年
- 152 瀬祭主人：上宮聖徳法王帝説。 http://www004.upp.so-net.ne.jp/dassai1/taisetsu/frame/taisetsu_frame.htm
- 153 関 裕二：聖徳太子は蘇我入鹿である。株式会社晋遊舎。2012年4月
- 154 中田祝夫全訳注：日本霊異記(全三巻)。株式会社講談社。1978年、1980年

- 155 ウィキペディア (Wikipedia) : フリー百科事典, Web サイト
- 156 関 裕二 : 聖徳太子の謎, PHP 研究所, 2005 年
- 157 谷沢 永一 : 聖徳太子はいなかった, 株式会社新潮社, 2004 年 5 月
- 158 新谷尚紀 : 伊勢神宮と出雲大社, 株式会社講談社, 2010 年 5 月
- 159 桃山町誌編纂委員会 : 桃山町誌「歴史との対話」, 和歌山縣桃山町, 平成十四年三月
- 160 山下重良編 : 調月の歴史「調月の地名起原」, <http://www.syamashita.net/history/tsukatuki/>
- 161 国立科学博物館 : 日本人はるかな旅展 <http://www.kahaku.go.jp/special/past/japanese/ipix/index.html>
- 162 龜山 勝 : 中国大陸・日本列島・朝鮮半島関連歴史年表 <http://www2.odn.ne.jp/~nov.hechima/nenpyou.html>
- 163 小浜基次 : 生体計測学的にみた日本人の構成と起原に関する考察, 人類学研究 7 (1, 2), 1960 年
- 164 鳥居竜蔵 : 有史以前の日本, 一九一八年
- 165 清野兼次・宮本博人 : 津雲石器時代人はアイヌなりや, 考古学雑誌 16 (8), 1927 年
- 166 長谷部 言人 : 太古の日本人, 人類学雑誌 55 (1), 1940 年
- 167 長谷部 言人 : 日本民族の成立, 新日本史講座, 1949 年
- 168 鈴木尚 : 本州北端に於ける近世アイヌの痕跡について, 人類学雑誌 62 (1), 1951 年
- 169 岡村道雄 : 「日本旧石器時代史」, 一九九〇年
- 170 小浜基次 : 生体計測学的にみた日本人の構成と起原に関する考察, 人類学研究 7 (1, 2), 1960 年
- 171 宝来 聰 : DNA 人類進化学, 岩波科学ライブラリー 52, 岩波書店, 1997 年 7 月
- 172 埴原和郎 : シミュレーションによる古代日本への渡来者数の推理, 人類学雑誌 95 (3), 1987 年
- 173 森 浩一 : 日本神話の考古学, 朝日新聞社, 1999 年
- 174 前田 豊 : 東三河と徐福伝説 <http://homepage2.nifty.com/kodaishinto/page004.html#徐福伝説>

- 175 小山田 浩：中国における徐福の記録
- 176 井上修一：徐福伝説「秦の始皇帝をだました男」<http://inoves.net/mystery/jyofuku.html>
- 177 いき一郎：徐福集団渡来と古代日本。三一書房。1996年
- 178 三谷業沙夫：徐福伝説の謎。三一書房。1992年
- 179 宇田明男：医学史からみた徐福の研究。東洋医学史研究会会報。1989―2000年
<http://kanemasa-web.hp.infoseek.co.jp/datas/fu.htm>
- 180 岡本嘉六：徐福伝説と稲の道。http://vetweb.agri.kagoshima-u.ac.jp/vetpub/Dr_Okamoto/Jofuku/
- 181 池田仁三：古代の日中交流(その源流を探る)。<http://www.11.ocn.ne.jp/~jin/KORY.htm>
- 182 八木 敦：徐福伝説。<http://www.asukanet.gr.jp/tobira/jofuku/jofuku.htm>
- 183 田中孝顕。扶桑略記。<http://www.umoregi.com/koten/fusoryakki/index.html>
- 184 関 裕二：なぜ「日本書紀」は古代史を偽装したのか。実業の日本社。2008年12月
- 185 関 裕二：壬申の乱の謎。PHP研究所。2003年6月
- 186 三浦佑之。古事記「序」は後世の偽書。文藝春秋。株式会社文藝春秋。平成19年5月号
- 187 上垣外憲一：古代日本 謎の四世紀。株式会社学生社。2011年3月
- 188 金谷雲：「日本Ⅱ百済」説。株式会社三五館。2011年4月
- 189 上垣外憲一：倭人と韓人。株式会社講談社。2003年11月
- 190 応請矩明：「日本」という国号。http://bell.jp/pancho/k_diary-2/2008_04_23.htm
- 191 三浦一郎：九鬼文書の研究。皇道宣揚会。昭和16年11月
- 192 児玉幸多監修：県史シリーズ(全47冊)。山川出版社。昭和45年
- 193 関 裕二：大化の改新の謎。PHP研究所。2002年7月

- 194 瀬祭主人：「懐風藻」葛野王 http://www004.upp.so-net.ne.jp/dassai/kaihunsou/05kadono/kaihunsou_kadono_frame.htm
- 195 高市志友編。紀伊国名所図会六之卷下(那賀郡)。文化九(1812)年正月。帯屋伊兵衛出版(復刻)
- 196 高野 勉：聖徳太子暗殺論。光風社出版。昭和六十年十一月
- 197 野中寺編：野中寺略縁起。野中寺発行
- 198 南向山西方院編：西方院縁起。西方院発行
- 199 聖徳太子御廟所 磯長山叡福寺：河内国上之太子 磯長山叡福寺縁起
- 200 玄松子：玄松子の記憶。 <http://www.genbu.net/>
- 201 遠山美都男：蘇我氏四代の冤罪を晴らす。株式会社学習研究社。2008年11月
- 202 森田悌：続日本後紀(上・下)。株式会社講談社。2010年11月
- 203 武田祐吉(佐藤謙三訳)：訓読日本三代実録。株式会社臨川書店。昭和六十一年四月
- 204 森博達：日本書紀成立の真実―書き換えの主導者は誰か。中央公論社。2011年11月
- 205 佐伯有清：新撰姓氏録の研究 拾遺篇。株式会社吉川弘文館。201年8月
- 206 高木神元：空海―生涯とその周辺。株式会社吉川弘文館。2009年4月(復刻)
- 207 Wikipedia フリー百科事典：空海。Webサイト
- 208 NHK大阪放送局編：空海と高野山。2003年4月
- 209 池上洵一編：今昔物語語集 本朝部(上・中・下)。株式会社岩波書店。2001年5月
- 210 小椋一葉：空海はどこから来たのか。株式会社河出書房新社。2012年3月
- 211 竹中佳子：高野山信仰と参詣。桃山歴史の会誌第38号。2012年5月
- 212 日野西真定編：新校高野春秋編年輯録。名著出版
- 213 橋本義彦著：平安宮廷と貴族。(株)吉川弘文館。平成8年12月

233 232 231 230 229 228 227 226 225 224 223 222 221 220 219 218 217 216 215 214

- 総本山金剛峯寺編：高野山文書(金剛峯寺文書一～七卷)。歴史図書社。昭和48年8月
- 日本地名大辞典編纂委員会編：日本地名大辞典30(和歌山県)。角川書店。昭和63(1988)年
- 松田文夫：高野山領紀伊国荒川庄史。自費出版。平成8年2月
- 高野山文書刊行会編：旧高野領内文書(三)。昭和14年
- 和歌山県史編纂委員会：和歌山県史。和歌山県。昭和45年
- 和歌山県史編纂委員会：和歌山県史古代史料。和歌山県。昭和45年
- 松田文夫：和歌山県桃山町史年表。自費出版。平成14年5月
- 下中邦彦編：日本歴史地名体系31巻。和歌山県の地名。株式会社平凡社。昭和58(1983)年2月
- 梶原正昭 校注訳：義経記 新編日本古典文学全集62。小学館。2000年1月
- 長谷川瑞 校訂訳：太平記(第一四十巻全四冊)。小学館。1998年7月～2004年5月
- 松田文夫：歴史・紀伊国貴志川―貴志川流域史概観。自費出版。平成七年二月改訂版
- 藤堂明保 他全訳注：倭国伝(中国正史に描かれた日本)。株式会社講談社。2010年9月
- 笹山晴生・五味文彦・吉田伸之・鳥海靖編著：詳説「日本史料集」2007年1月(再訂版)
- 日本歴史大事典編集委員会編：日本史年表。河出書房新社。1998年3月(第四版)
- 末木文美士：日本仏教史。株式会社新潮社。平成8年9月
- 尚学図書編集：故事ことわざの辞典。小学館。1986年
- 篠田謙一：日本人になった先祖たち。NHK出版。平成19(2007)年2月
- 鈴木正信：大神氏の分布とその背景(論文)。滋賀大学経済経営研究所(電子版)彦根論叢
- 鈴木正信：五ノ八世紀における大神氏の民族的展開。滋賀大学経済学部研究年報 Vol.19。2012年 spring / No.395
- 加藤兼吉他編著：日本古代史地名辞典。(株)雄山閣。平成19年10月10日初版

- 234 萱野 茂著：萱野茂のアイヌ語辞典、株式会社三省堂、1996年10月第三版
- 235 渡辺康則：捏造ねつぞうされた天皇・天智(上・下)、株式会社大空出版、2013年10月
- 236 平信範記：平信範等筆兵範記、京都大学附属図書館所蔵 重要文化財『兵範記』、京都大学電子図書館 Web サイト
<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/hyohan1/hhfcont.htm>
- 237 羽田武栄、広岡純、真説「徐福伝説」、三五館、2000年
- 238 山下重良著：古代日本原記、自費出版、平成26年3月
- 239 岩出町誌編集委員会編：岩出町誌、岩出町、昭和51年10月
- 240 松田文夫編：紀州那賀郡史、自費出版、平成七年十二月(改訂版)
- 241 和歌山縣誌編纂委員編：和歌山縣誌(全三卷)、大正三十一年、(株)名著出版、昭和四十五年六月(復刻版)
- 242 松田文夫編：紀州古代史、自費出版、平成八年二月(改訂版)
- 243 松田文夫編：訳注紀州根来寺史料、私費出版、平成十(1998)
- 244 井上赳夫編：陵・宮・碑石・石室の墓誌解読、自筆資料、平成2年11月1日～平成3年1月14日、
- 245 安楽川尋常高等小學校編：安楽川村誌、昭和8年12月
- 246 調月尋常高等小學校編：調月村郷土誌、昭和6年
- 247 垣内尋常高等小學校編：垣内青年學校編：郷土細野村の片変貌、同上発行、昭和13年3月
- 248 和歌山市教育委員会編：和歌山市史(全十卷)、和歌山市、1975～1992年
- 249 伊藤只人著：紀州史備要、撰書堂、昭和十六年十二月五日

HOME